

令和5年度 高千穂町立田原小学校 学校関係者評価書

学校経営ビジョン：知・徳・体のバランスのとれた田原っ子の育成

【評価】 4：よい、3：だいたいよい、2：もう少し、1：よくない

重点 目標	評 価 項 目		平均（４点満点）期待値：3.2					考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
			児童	保護者	委員	職員	平均		
確かな学力の定着	①	学校は、一人一人に応じた「わかる」「できる」授業を行い、学習内容を定着させ、学力を向上させようと努力している。	3.5	3.5	4.0	3.0	3.5	3.5	「確かな学力の定着」に関する総合評価は、４点満点中「3.5」で、達成率87％である。 ①の「分かる」「できる」授業の評価は平均「3.5」で達成率87％であった。高千穂町教育研究会や学校訪問等を活用し、授業改善に努めてきた。今後も、相互参観を取り入れ日々情報交換しながら田原小ならではの少人数を活かしたきめ細かな授業を実践する。 ②の「タブレットを活用した授業」に関する評価は、平均「3.5」で達成率87％であった。今年度は電子黒板が導入され、ICT機器の環境整備が充実した。今後はICTを活用した授業方法等の研修を引き続き実施し、活用技術の向上や個人差に応じた指導方法の工夫改善を行いたい。 ③の「読書」に関する評価については、平均「3.5」で昨年度の「3.0」(75%)よりも向上している。昨年度の保護者と職員評価に対し、本年度の評価はどちらも向上している。これは、スタンブラリーや読書ビンゴ等図書委員を中心として取り組んだりしたことの成果だと考えられる。2月5日現在で「2822冊」を貸し出しているが、朝の読書の時間に読んだ冊数を加えると、3500冊程度の読書数が見込まれる。また、保護者や地域の皆様の助力を得て本の修繕やブックカバーの新調にも取り組んだ。次年度も児童が足を運びたくなる「魅力ある図書室」を目指し工夫を重ねていきたい。
	②	担任は、タブレット等を活用し、参観日や研究授業・相互参観等授業公開を通して、日々授業改善を行い、授業力向上に努めている。	3.4	3.8	3.7	3.2	3.5		
	③	学校は、児童が進んで読書をするように、読み聞かせや本を選びやすい図書室環境の工夫等努力している。	3.0	3.3	4.0	3.6	3.5		
豊かな心の育成	④	学校は、道徳・人権教育やよりよい人間関係づくりの推進に努めている。	3.5	3.7	3.7	3.0	3.5	3.2	「豊かな心の育成」に関する総合評価は、「3.2」で、昨年度と同様の達成率80％である。 ④の「よりよい人間関係」の推進は平均「3.5」で達成率87％であった。職員の評価が、昨年度の「2.5」より向上したのは、日頃の職員間の連携や「スマイル委員会」等の研修で児童理解の時間を確保し、具体的な指導方法を共有した成果と思われる。一部固定化した人間関係も見られるが、今後も全ての教育活動において、よりよい人間関係を築けるよう意識した指導を行う。 ⑤の「あいさつ」に関する評価については、平均「3.5」で達成率87％であった。昨年度と比較すると評価はほとんど変わらず、期待値以上であるが、今後も地域の一員としてどんな所でも積極的にあいさつをするよう、学校・家庭・地域の三者が意識を共有して指導を行う。 ⑥の「メディアコントロール」に関する評価については、平均「2.6」で達成率65％で、全項目中唯一期待値を大きく下回った。学校保健委員会を活用した睡眠とメディアに関する授業や高千穂町の養護教諭部会が作成した「メディア利用のルール」の配付、児童にメディア利用の時間を設定させたりしているにも関わらず児童「2.5」(達成率63％)、保護者「2.3」(達成率58％)であった。ただし、保護者評価は6％向上しているので、親子で意識できるような取組を次年度も実践していきたい。
	⑤	児童は、「おはようございます」「こんにちは」等のあいさつをよくしている。	3.7	3.4	3.7	3.4	3.5		
	⑥	児童は、家庭のルールに沿った(1日、1時間等)のメディアコントロール」を実践している。	2.5	2.3	3.0	2.7	2.6		
健やかな体の育成	⑦	児童の体力が、向上していると感じる。	3.5	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	「健やかな体の育成」に関する総合評価は、「3.5」で、達成率87％で、期待値以下だった昨年よりも8％程度上昇し、期待値を上回っている。 ⑦の「体力向上」の推進は平均「3.5」で達成率87％であった。県の体力テストにおいて最上位の「A」判定が10名(33%)であり、朝の体グングンタイムや体育の授業・昼休みの外遊びの成果だと考えられる。 ⑧の「健康や安全に関する態度や習慣」については、平均「3.6」で達成率90％と期待値を大きく上回った。職員の評価が向上したのは、評価項目をむし菌の治療状況だけでなく、児童の健康や安全の指導全般の達成状況に改善したためである。特に新型コロナウイルスが5類になった後も引き続き感染症対策を徹底した成果が出て、学級閉鎖等の感染症の流行は発生していない。今後も、参観日や学校保健委員会、保健だより、家庭教育学級等を活用して学校と家庭が連携しながら健康や安全に関する態度や習慣を育成したい。 ⑨の「危険予知や危機回避能力」の育成については、平均「3.4」で達成率85％である。本校は、急傾斜地警戒区域に立地しているため、「不審者対応・火災・地震」の避難訓練のほか、「土砂災害」に対する避難訓練も実施している。今年度は、運動場にすぐ避難する従来の形式から脱却し、児童一人一人の危険状況に応じた訓練を実施した。今後、児童の「危機回避能力」が高まるよう日常的な手立てを講じ、地域と連携しながら実践を繰り返したい。
	⑧	児童に、けがや病気・食育等、健康に関する望ましい態度や習慣が身に付いている。	3.6	3.2	3.7	3.9	3.6		
	⑨	児童に、災害や不審者・交通安全等、安全に関する意識が高まっている。	3.7	3.3	3.0	3.6	3.4		
家庭地域との連携	⑩	児童に、家庭や児童クラブで宿題をする等、学習習慣が身に付いている。	3.5	3.3	3.3	3.3	3.4	3.5	「家庭地域との連携」に関する総合評価は、４点満点中「3.5」で、達成率87％である。 ⑩の「家庭や児童クラブでの学習習慣」に関する項目は平均「3.4」で達成率85％で昨年度と同様である。学校における宿題の提出率は9割以上と、学習習慣の定着がうかがえる。今後も、参観日や各種通信等を活用し、保護者との連携を図りたい。 ⑪に関しては、保護者と評価委員から「3.7」(達成率92％)と高い評価を得た。また、職員の評価も「2.8(70%)」から「3.3(83%)」と向上した。これは、学校だよりを毎月発行して地域の閲覧板で見ていただく取り組みを行ったり、学校のＨＰを細やかに更新したりする等して、広報活動に努めた成果だと考える。ただ、学級からの文書に誤りが多いとご意見があったので、今後改善していきたい。 ⑫に関しては、「3.7」(達成率92％)と高い評価を得た。新型コロナウイルス5類移行に伴い、「もちつき」をはじめ、保護者や地域の皆様との連携を図った活動を年間を通して実施できた。今年度は、学校・家庭・地域が熟議する「しゃべり場」を行い、次年度からスタートする「コミュニティ・スクール」の第一歩となった。次年度は、学校関係者評価委員会を廃止し、地域ともにある学校づくりを目指して「学校運営協議会」を設置し、三位一体となって更なる連携・協働を図り、田原小の良さを発信していきたい。
	⑪	学校は、各種通信やＨＰ等で家庭や地域へ積極的に情報発信をしている。	3.3	3.7	3.7	3.3	3.5		
	⑫	学校は、地域との積極的な交流を計画し、ふるさと高千穂の魅力を発見し、ふるさとを愛する児童の育成に取り組んでいる。	3.9	3.7	3.7	3.6	3.7		
教職員の質の向上	⑬	学校の職員は、法令を遵守し、地域に信頼される行動を取っている。	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	「教職員の質の向上」に関する総合評価は、４点満点中「3.7」で、達成率92％である。 ⑬の「職員が法令を遵守し、地域に信頼される行動を取っている」、⑭の「職員が田原小学校のために努力している」かどうかを評価する項目は、保護者等から平均「3.8」(達成率95%)の評価を得た。これは、地域とともにある学校づくりを目指して、職員が学校長のリーダーシップの下ビジョンを共有し、「信頼される教師」や「学び続ける教師」であり続ける大切さや意義について、日々質の高い教育実践を行っている成果だと考えられる。今後も、「児童を大切にする教師」、「児童とともに伸びる教師」、「信頼される教師」を意識し、田原小学校のためだけではなく、地域の発展に貢献する「チーム田原」を目指していきたい。
	⑭	学校の職員は、授業や学校行事等、地域の発展のために努めている。	3.9	3.8	3.7	3.5	3.7		